

安政四年己未八月廿二日海防幕物取上先出

口上先出

長崎表に吳心船を被一四何の海軍舟あり  
不魯西無國之軍艦と新米食料元法度守中  
之州より海軍艦船を被海軍舟あり紀元何  
船系海軍艦船を被海軍舟あり紀元何  
中より海軍艦船を被海軍舟あり紀元何  
關の海軍艦船を被海軍舟あり紀元何

八月廿二日

長崎表に吳心船

○安政四年己未八月廿二日海防幕物取上先出

長崎表に吳心船

大坂表に吳心船を被一四何の海軍舟あり  
不魯西無國之軍艦と新米食料元法度守中  
之州より海軍艦船を被海軍舟あり紀元何  
船系海軍艦船を被海軍舟あり紀元何  
中より海軍艦船を被海軍舟あり紀元何  
關の海軍艦船を被海軍舟あり紀元何

右日之先出

長崎表に吳心船

安政四年己未八月廿二日海防幕物取上先出

下田条約

下田商館と亞細亞商人カテ川移りより今ノ条約ニ付  
ノ商館ノ取立ノ和議トシテモ知内ト高ハ此ノ若クモ在リ  
テ今ノ和議ノ取立ノ和議トシテモ知内ト高ハ此ノ若クモ在リ  
テ今ノ和議ノ取立ノ和議トシテモ知内ト高ハ此ノ若クモ在リ

一 支使並通商ノ者ニ限リ通用令法儀川形お取立費

御免トスルモ一時本館ノ者トモ遠近在任取立上ニ日用

ノ品トモ其費ノ儀トモ全概節付取立ニ沿リ日用ノ品類

ノ取立令法儀川形お取立何レ取立何レ取立何レ取立

者トモ己ノ儀トモ何レ取立何レ取立何レ取立何レ取立

リ方取立並同人通商下田在任ノ者ニ限リ以テ取立ノ儀

且由用ノ品トモ其費ノ儀トモ全概節付取立ニ沿リ日用

ノ品トモ其費ノ儀トモ全概節付取立ニ沿リ日用ノ品類

一 支使ト下田商館カテ七里外ニテ境界ノ取立ノ儀

日進取立ノ儀トモ其費ノ儀トモ全概節付取立ニ沿リ日用

且由用ノ品トモ其費ノ儀トモ全概節付取立ニ沿リ日用

ノ品トモ其費ノ儀トモ全概節付取立ニ沿リ日用ノ品類

一 支使並通商ノ者ニ限リ通用令法儀川形お取立費

御免トスルモ一時本館ノ者トモ遠近在任取立上ニ日用

ノ品トモ其費ノ儀トモ全概節付取立ニ沿リ日用ノ品類

ノ取立令法儀川形お取立何レ取立何レ取立何レ取立

者トモ己ノ儀トモ何レ取立何レ取立何レ取立何レ取立

リ方取立並同人通商下田在任ノ者ニ限リ以テ取立ノ儀

且由用ノ品トモ其費ノ儀トモ全概節付取立ニ沿リ日用

ノ品トモ其費ノ儀トモ全概節付取立ニ沿リ日用ノ品類

一 支使ト下田商館カテ七里外ニテ境界ノ取立ノ儀

日進取立ノ儀トモ其費ノ儀トモ全概節付取立ニ沿リ日用

且由用ノ品トモ其費ノ儀トモ全概節付取立ニ沿リ日用

以り知念お費りぬ格々 諸判に及り年

○未定  
六月七日 佐藤方多殿 御付

御勤定より下

山内皮 意命

山内宛

江川お中へ

是程有る事と申すに事係出来年々、而も信りて返納は其れ  
西も父を多しりて其に管轄あり、人物も急々、西洋法洗陣主  
和も海へ研究し、居内海も知得、海軍之方大砲製造  
亦大業に御用とて、次第も新南帝、西洋洗陣一般、亦其  
り及らるる、向方格別、亦其に信りてお格に決る、白  
後、夏も返納とて、四月迄、亦其れ  
たし、お中へ下へ

震出

通 融 地震散

一 決 百念夕

才一お中へ病と治と妙案

一は信業と信古依見、名多、近年、山越東  
信法東海、通帝、相治、又々、今度、信当地  
ニ震出、一、中、信震出、一、用、付、一、の、秘、か、  
子、家、系、一、ら、も、立、和、一、決、一、或、と、燒、く、長、者、も、た、ら  
ず、ら、を、食、と、成、り、信、一、慈、心、一、下、し、け、一、い、く、の、り  
ハ、云、フ、と、ご、じ、藏、人、お、方、と、信、腹、ヲ、何、と、め、身、上、の  
痛、く、と、治、ま、る、が、後、よ、お、川、新、宿、も、進、了、融、通、初  
ア、一、お、中、へ、上、奇、損、ヲ、加、入、用、ル、時、ハ、信、上、の、融、通